

鳥取こども学園 学園だより

第 21 号
2007年 6 月 1 日

○発行
鳥取市立川町 5 丁目 417 番地
鳥取こども学園後援会
電話 (0857) 22-4206

○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
題字 尾崎梯之助



創立百周年・乳児院開設半年を経過して

さらなる歩みを

鳥取こども学園 乳児部 院長 田中 佳代子

二〇〇六年度は、鳥取こども学園にとって大きな節目の年であるとともに、新たな歩みを始めた年となりました。

百一年前の一月十三日、キリスト教信者であった尾崎信太郎氏によって『鳥取孤児院』として創設された鳥取こども学園は、関係者のたゆまない努力によって築き上げられ、献身的に子ども達の救済に努めた諸先輩方の歩みによって、ゆるぎない信頼を得てきたと確信しています。また、地域をはじめとする数多くの方々の理解と援助が

あってこそ、存続させていただけていると思っています。

長い歴史の中で、児童養護施設は時代時代の社会の諸問題を凝縮して背負ってしまつた子ども達をケアしてきました。私が勤めた頃、現施設長より『子どものためには、法律の許すギリギリまで何でもやる覚悟を持って』と教えられました。その通りに私が出来ているかどうかは別として、確かに鳥取こども学園は、より良い処遇を目指してその時代に必要とされた児童福祉施設を次々に併設し、時代の先駆的取り組みをしてきたと思います。無鉄砲という走り出しも民間だからこそ出来たことと思います。

二〇〇六年度は、創立百周年に伴つて十月一日に、定員十五名の乳児院を開設しました。現在、入所は九名ですが、一時保護の利用は絶え間なく続いている状態です。

少子化の時代に、児童養護施設や乳児院が全国的に満床状態ということに胸が痛みますが、今まで西部の米子にしかなかった乳児院が東部に出来たことによって、「気軽に利用しやすくなった」との声や、毎日のように乳児の面会に来られる保護者の方と

接していると、『親子愛着トレーニングセンター』的機能を持った乳児院を創るという方針が、的を射たものであったと痛感します。児童養護施設等で三十年お世話になり、今、乳児院院長という大役を授かり、純真無垢な乳幼児の貴重な『命』と『時』と『心』を預からせて頂くことの重さを感じています。又、一人でも多くの子ども達が親子の絆をしっかりと結んで成長してくれるように、架け橋となることの大切さも感じます。半年経つてやっと外枠が出来た段階で、中身の充実はこれからです。いろんな意味で大変なものこれからだと思いますが、すばらしいスタッフにも恵まれました。子ども達の笑顔に負けないように、職員も笑顔を絶やすことなく『信頼のおける施設』になるよう頑張っています。

乳児院設立をはじめ、創立百周年事業に際して多くの募金や心温まる支援をいただきました。昨年は園長が突然の大病で長期療養となり、後を守る者としては皆様の支援の手がありがたく、感謝するとともにその厚意に応えていかなければならないと心に刻みました。子ども達の健全な発育を願えば、まだまだ充分な処遇が出来ているとは言いがたいです。『これでいい』という終わりもありません。今後子ども達の最善の利益を追求し、創立の『愛』の精神に立ち返って励みたいと思いますので、変わらぬご支援、ご指導をお願い致します。

法人本部

創立百周年記念募金への
感謝と後援会加入のお願い

① 鳥取こども学園創立百周年記念事業（乳児院その他建設事業、学園墓地改修、鳥取養育研究所創設、百周年記念誌発行、記念式典・記念講演及び感謝の集い）の総事業費は約一四、七七〇万円となり、建設費に対する補助金七、五三九万円以外の七、二三一万円が法人負担で、五、〇〇〇万円を目標に寄付金を募ってきました。

お陰様で三月末現在、本当に多くの方々から三、四四六、九一一円の募金が寄せられました。心より感謝申し上げます。

② しかし未だ約二、〇〇〇万円ほど目標額に届いていません。まことに心苦しいのですが、引き続きのご支援と共に、一人でも多くの方の後援会加入（年会費一〇三千元）をお願い申し上げます。

入所児童の代弁者として、子どもの人権を守るため、措置費制度の維持と施設最低基準の抜本的改善を求め、ソーシャルアクションの先頭に立ちたい

③ 児童養護施設や乳児院等の施設は、児童虐待を受けた子どもたち等、要保

護児童で溢れかえり、施設現場は、まるで野戦病院のような状態です。鳥取こども学園も例外ではありません。

④ 国が定める現行の職員配置基準は、児童養護施設の場合、週休二日、一日八時間労働に直すと少なくとも四倍となり、一人の職員が学童二十四人、〇才児六・八人、三才未満児八人、三才六才児十六人をみなさいという驚くべき最低基準なのです。

三十年以上変わっていない施設最低基準の抜本的改正を切に要望します。

⑤ 鳥取県は片山県政の下で、国の制度の不十分さを認め、単県加算を付けるなど対応して頂き、注目を集めました。そのお陰もあり、当法人は昨年九月、児童養護施設（定員四十五名で七ホーム）、情緒障害児短期治療施設（入所定員三十名で四ホーム、通所定員十五名）、乳児院（定員十五名で三ホーム）、一時保護ホーム一ホーム、計十五ホーム体制を確立しました。

⑥ 一ホーム五〜七名に職員三〜四人を配置した全国トップレベルのこの体制は、多くの方々の寄付金と職員のボランティアと低賃金によってかろうじて支えられています。国の制度が飛躍的に強化されなければその維持は不可能です。措置費制度の維持と施設最低基準の抜本的改善を求め、ソーシャルアクションの先頭に立ちたいと思います。ご支援下さい。

2006年度各施設の月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
養護施設	未 満 児	2 45 8	2 45 8	2 45 8	2 45 8	2 45 8	2 45 8	2 45 8	2 45 9	2 45 9	2 45 9	2 45 9	2 45 9	24 540 101
	入 所	19	20	21	21	22	22	23	25	26	29	29	29	286
情短施設	通 所	10	11	13	14	15	15	15	15	15	15	15	15	168
	外来相談	実人数：1,921人 延人数：3,176人												
子ども家庭支援センター希望館		実相談件数（来所104、電話168、訪問175）：447件、延相談件数（来所398、電話479、訪問241）：1,118件												
鳥 取 フ レ ン ド		6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	7	68
倉 吉 ス マ イ ル		5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	67
保 育 所		160	160	165	162	164	167	169	171	170	172	173	174	2,007
子育て支援センター	利用家庭数	262	260	375	345	335	397	289	207	180	241	237	221	3,349
	一日平均	14	11	15	16	15	18	13	9	6	11	9	9	146

本部会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
補助金収入	100,852,000	102,290,890	1,438,890
寄付金収入	34,566,000	38,714,479	4,148,479
雑 収 入	4,467,000	5,127,464	660,464
繰入金収入	3,246,000	3,246,000	0
設備資金借入金収入	38,200,000	38,200,000	0
受取利息収入	6,000	5,752	Δ 248
合 計	181,337,000	187,584,585	6,247,585

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	815,000	746,524	Δ 68,476
事務費支出	12,460,000	12,796,902	336,902
元利償還金	2,498,000	2,498,014	14
繰入金支出	45,309,000	45,248,735	Δ 60,265
固定資産取得費	113,081,000	115,227,583	2,146,583
積立預金積立支出	0	9,500,000	9,500,000
合 計	174,163,000	186,017,758	11,854,758

収入支出差引残金の ￥1,566,827 - は次年度繰越

児童養護施設

鳥取こども学園

鳥取こども学園は五月一日現在、四十四名の子どもが生活しています。学園で生活している子どもたちの中から、日々生活していて感じたこと思ったことを作文にしてくれた子どもがいますのでご紹介します。

僕の夢

(M・R)

小学校生活で一番大きく変わったことは僕の夢です。

幼稚園のころから二年生までは、消防士になりたいと思っていました。三年生になってから飼育をしているうちに獣医になりたいなあと思うようになりました。獣医になりたいくても、ただ獣医になりたいなあと思うだけでは何も始まらないので、一つ一つをがんばって実現させていきたいです。

しかし、僕の夢を実現させるには、すごく大きな壁があります。一つは動物性アレルギーです。小さいころはなかったもので、それを知った時には動物好きの僕には、すごくショックでした。獣医はあきらめようと思っていた時に、血液検査の結果で少しだけ良くなっていると言われて、希望がもどってきました。これは治るんだ、あきらめずにがんばろうと思

いました。

もう一つの壁は勉強です。僕は理科と算数は得意だけど、国語と社会はすごく苦手です。特に苦手なのは国語の漢字です。一生懸命に漢字を覚えるように努力したいです。そして、自分の夢である獣医に絶対になります。

新任職員のご紹介！

つくしホーム



児童指導員 竹下 敏

学園にこっそり入れて戴いて早十ヶ月。緑り返される毎日の生活を意識する事自体、初体験。

未だ子どもの前でどきまぎ、おるおるの毎日です。新人に？が付く歳ですが、踏ん張っています。

◆こすもすホーム



保育士 石田 航

ペレという偉大なサッカー選手が、引退の際次の言葉を残しています。

『LOVE！ LOVE！』

LOVE！

この言葉を胸に一生懸命がんばります。よろしくお願いします。

◆つくし・こすもす兼任



保育士 荒金 微美

学園で子どもたちと共に生活し始め、子どもとどう向き合っていくべきかを模索中の毎日です。

子どもの個性を尊重しつつ、自分らしさも大切にしてい互いの存在を認めあえる関係を作っていきたいです。

◆たんぼホーム



児童指導員 下田 朋史

四月からたんぼホームで児童指導員として一緒に生活しています。子どもたちの可愛い笑顔に癒され、はちゃめちゃな行動に笑え、わんぱくすぎて叱り…。日々楽しく、自分らしく関わっています。

◆さくら・たんぼ兼任



児童指導員 安道 慎子

好きな物事…歌(合唱)、温泉(銭湯)、バレエボール(球技)、イラスト書き(漫画絵)、ドライブ(気の向くまま)、整体、ミッフィー、野良猫の観察、お鍋、泡盛…。こんな私ですがよろしく願います。

◆あさみホーム



児童指導員 伊縫 千恵

こども学園で働き始めて八ヶ月経ちます。未だに自分のことではいっばいで余裕がなく、反省することたくさんです。それでも子ども達と一緒にいると元氣や楽しさをもらえ「次はこうしてみよう」と力をもらっているような気がします。



児童養護施設「鳥取こども学園」施設会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
措置費収入	151,028,000	151,234,622	206,622
補助金収入	8,950,000	8,945,828	△ 4,172
寄付金収入	200,000	150,000	△ 50,000
雑 収 入	3,465,000	4,009,897	544,897
受取利息収入	5,000	5,446	446
引当金戻入	9,556,000	9,556,000	0
合 計	173,204,000	173,901,793	697,793

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	129,899,000	130,046,486	147,486
事務費支出	5,425,000	5,360,495	△ 64,505
事業費支出	35,514,000	35,846,413	332,413
繰入金支出	2,366,000	2,366,000	0
合 計	173,204,000	173,619,394	415,394

収入支出差引残金の ￥282,399 - は次年度繰越

乳 児 院

鳥取こども学園乳児部

院長 田中 佳代子

平成十八年十月一日に開設した定員十五名の乳児院です。乳児院は、現在〇才から六才までの乳幼児をお預かりすることが出来ます。開設当初は、三名のスタートでしたが、五月一日現在、〇才児四名・一才児二名・二才児一名・三才児一名の入所と一時保護三名で、計十二名が生活しています。

少人数の家庭的処遇を目指し、一ホー



初節句を喜び、親子

ム五人で、三ホームで生活しています。各ホームにミニキッチン・居間・寝室空間を設置しています。掃除・洗濯等すべて職員が行い、子ども達がいろいろなまねをしてお手伝いしてくれます。

半年経過して枠組がやっと出来上がりましたが、この半年の間に四種類の感染症を経験し病児を隔離したり、入院も六回ありました。風邪や中耳炎の通院・検診・予防接種も頻繁です。子ども達が健康であれば、遠足に行ったり、お菓子作りやお遊びなどゆつたりと感情豊かに触れ合えるのですが、慌ただしくなると日課をこなすのが精一杯で『こんなつもりじゃないのに何してるんだろ』と顔を見合わせてため息です。しかし、愛着形成を重視し、入院の付き添いも外部委託している施設も多いなか職員でまわし、頼める保護者には依頼もし、保護者と二人三脚で養育に当たっています。宮参り・お食い初め・初節句を保護者とともに祝ったり、検診などにお誘いしています。又、育児不安のある保護者の方に励ましや援助を行い、少しでも親子の絆が強まるようにと願って努力しています。

まだまだ試行錯誤の段階ですが、子ども達の満面の笑顔に触れ、心の癒しと次への活力を与えてもらいながら職員も成長するつもりで頑張っています。



お外大好き、お散歩力一

赤ちゃんパワー

保育士 渡 美由紀

養護から乳児部に異動して半年以上が経ちました。私は、どんぐりホーム(〇才児)の担当ですが、開設当初は一人しかおらず、毎日『赤ちゃんパワー』に癒されていたものです。

ところが、現在はどうでしょう。背中に一人、前に一人、ラックに二人を足でユラユラ。筋トレもしているかのよう。さらに見えない敵(ウイルス)に襲われ、通院、入院の嵐。

でも、乳児部の子どもたちの笑顔を守れるのは私たちしかないのです。どんな時でも子どもが微笑めば、やはり癒されるのです。またまた手探りの部分が多々ありますが、『赤ちゃんパワー』を『保育士パワー』に換えて、職員皆で子どもたちの笑顔を守っていききたいと思っています。

乳児院「鳥取こども学園乳児部」施設会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	53,174,000	53,647,396	473,396
補助金収入	1,225,000	1,225,000	0
寄付金収入	1,610,000	1,610,000	0
雑 収 入	908,000	911,411	3,411
受取利息収入	1,000	1,330	330
合 計	56,918,000	57,395,137	477,137

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	43,075,000	43,457,636	382,636
事務費支出	4,608,000	4,127,109	△ 480,891
事業費支出	4,511,000	4,064,813	△ 446,187
固定資産取得費	1,760,000	3,276,112	1,516,112
積立預金積立支出	0	2,400,000	2,400,000
合 計	53,954,000	57,325,670	3,371,670

収入支出差引残金の ￥69,467 - は次年度繰越

情短施設

希望館

ブロック新体制になって

男子ブロック長 藤野 謙一

希望館が開設してから、十数年が経過しました。様々な子ども達との出会いの中で、職員一人ひとりが試され、悩み、苦しんで、やっとここまで来た感じがします。中には燃え尽きて辞めていった職員がいるという事実もあります。昨年度は、職員同士で現在の状況を徹底的に話し合い、分析し、希望館の在り方とその方向性を検討しました。

宿泊入所部門における男子ホーム、女子ホームのブロック体制の強化は、その第一弾とも言えるべきものです。

これまでの違いは、「こばと、わかば、のぎく、しらゆり」という今までのホーム体制に加え、男子ホーム、女子ホームにブロック長をそれぞれ一名ずつ配置したことにあります。

今年度、私が男子ホーム（こばと、わかば）のブロック長となり、両方のホームを行ったり来たりし、日々、悪戦苦闘しているところです。新体制となり、若い職員が多く、経験不足であることは否めませんが、私が言つのは何なのですが、魂のこもった職員集団だと自負しています。

す。子ども達の方は、屈託なく、エネルギーに毎日を通していきます。日本社会での混沌とした子育て事情の中で、児童福祉での「今、この瞬間」を、過去、現在、未来を意識しつつ、子ども達と共に歩んでいることの意義は、とても大きなものであると感じます。子ども達と職員が「現実」を受け止めながらも、喜怒哀楽に溢れた温かい雰囲気的生活が共に過ごせたら本望だと思います。子ども達職員共々、温かく見守ってやってください。

・こばとホーム……山名康之ホーム長

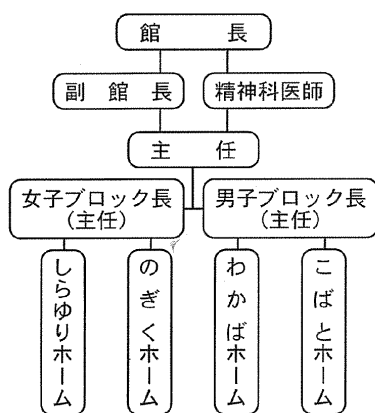
岡本麻美保育士

赤堀智子保育士

・わかばホーム……宮井潤子ホーム長

平野信貴セラピスト

門脇弘道児童指導員



女子ブロック長 水野 壮一

私は女子ブロック長として「ブロックの統括」という職責を果たそうと、毎日

無我夢中で仕事に取り組んでいます。その難しさを痛感させられるばかりです。

また、各ホームの職員構成にも手が加えられ、四月から新たなスタートを切りました。

・のぎくホーム……福地佳恵ホーム長

中村安奈児童指導員

中原麻美保育士

・しらゆりホーム……山本奈穂子ホーム長

川口美由紀保育士

松本和泉保育士

各ホーム三名の直接処遇職員が日々子どもの生活を支えながら、子どもたちと一緒に頑張っています。どちらのホームも女性だけのチームで、バランスに不安を感じているようですが、そこはチームワークで補いつつ、懸命に処遇に取り組んでいます。

そして主役の子どもたちは、一つ上の学校・学年に進学・進級して、それぞれの目標に向けて、少しずつ成長する姿を見せてくれています。

時には不器用で、もがき苦しむ子どもの姿に、職員も力不足を感じて悔し涙を流すこともありですが、女子ブロックでは子どもも職員も「自分も他人も大切」にして、笑顔で生活できるよう、支えていきたいと考えています。

そして何十年か先、この希望館での生活を子どもたちが振り返った時、温かい気持ちでつい笑みがこぼれてしまう、そんな場所になれば……と願っています。

情短施設「希望館」施設会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	150,838,000	151,102,795	264,795
補助金収入	5,407,000	5,407,254	254
寄付金収入	20,000	20,000	0
雑 収 入	2,474,000	2,466,585	Δ 7,415
受取利息収入	0	3,808	3,808
引当金戻入	2,730,000	2,657,206	Δ 72,794
合 計	161,469,000	161,657,648	188,648

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	134,956,000	134,814,716	Δ 141,284
事務費支出	4,417,000	4,326,427	Δ 90,573
事業費支出	22,096,000	22,516,505	420,505
合 計	161,469,000	161,657,648	188,648

収入支出差引残金 ￥0

保育所

鳥取みどり園

園長 入江 一枝

風薫る五月の空の下に、子ども達の元気な声が響いています。四月に入園した子ども達も徐々に園生活に慣れ、大好きな「お外」で思いおもいの遊びを楽しめるようになってきました。みどり園の広い敷地は、四季折々の草花が咲き、昆虫が生息しみどりの風が吹くすばらしい環境にあります。この環境はきつと子ども達の興味を刺激し、探求する心を育て、観察する目を養い、生命の尊さを知らせてくれると思います。

新しい出会いのこの時、保育園で子ども達が与えられた「今」の時を精いっぱい生き、安心して自己表現できるようにしっかりと受けとめていきたいと思っています。また、家庭や地域との連携を大切にして、子ども達が健康・安全で情緒の安定した生活が出来るように全職員が一丸となって働きをしていきたいと思っています。今年度も「地域子育て支援センター事業」をはじめ、昨年同様の特別保育事業を実施しています。

お部屋訪問

一緒にあそぼうよ！

保育士 中村 秀子

やわらかな春の陽射しに包まれた四月、新入児四名を新たに迎え計二十名の子ども達と共に過ごすひまわり組での生活が始まりました。初めての集団生活に戸惑い、不安いっぱい涙を流していた新入児も近頃では担当保育士の傍で少しずつ好きな玩具やあそびを見つけて友だちと同じ空間であそべるようになってきました。そして、継続児も「〇〇ちゃんは？」と友だちの姿を探したり、気の合う友だちとかかわりながら思い思いに好きなあそびを楽しんでいます。

また、戸外あそびが大好きな子ども達はその手に道具を抱え、「こはーん」「ケーキだよ」と砂あそびを楽しんでいます。更には「こっちにおったでー！」とバケツやシャベルを片手に目を輝かせながらダンゴムシ探しをする男の子達。身近な自然にふれ、肌で季節を感じながら、友だちと一緒にいることやかわつてあそぶこと、楽しい！と思えるよう共にあそび、時には傍で見守りながら仲立ちしていききたいと思っています。



鳥取みどり園行事

12月16日	クリスマス祝会
1月12日	伝承あそび(祖父母と一緒に)
2月27日	参観日(保育参観・講演)
2月18日	交通安全教室(保護者会主催)
2月21日	鳥取市児童文化祭(出演 年長児)
2月22日	「育児講座」
2月23日	講師 入江 一枝氏
2月22日	シルエット劇場(年長児)
2月23日	修立小学校区保・幼・小交流会(年長児)
3月22日	ひなまつり
3月22日	ひなまつり
3月8日	平成十九年度入所児説明会&身体検査
3月16日	お別れ会
3月24日	第五十六回卒園式
3月24日	進級式
3月25日	第五十七回入園式
3月26日	春の親子遠足(こども国)
3月26日	保護者会総会
5月10日	健康診断(園医による)
5月14日	「わくわく東職場体験学習」鳥取東中二年生
5月24日	J A交通安全ミュージカル観劇(年長児)
5月25日	避難訓練(総合訓練)
5月26日	消防署員・消防車来園
5月31日	わくわく子育て支援センター「育児講座」
5月31日	講師 田 尻 光 照 氏

保育所「鳥取みどり園」施設会計決算書

収 入

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)
措置費収入	122,332,690	123,242,080	909,390
補助金収入	22,666,940	22,596,479	△ 70,461
寄付金収入	146,300	146,300	0
雑 収 入	1,800,000	1,817,240	17,240
利 用 料	820,000	854,050	34,050
受取利息収入	12,440	12,440	0
引当金戻入	10,933,000	9,740,931	△ 1,192,069
合 計	158,711,370	158,409,520	△ 301,850

支 出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)
人件費支出	135,799,444	135,603,579	△ 195,865
事務費支出	4,414,884	4,339,665	△ 75,219
事業費支出	17,333,542	17,302,776	△ 30,766
固定資産取得費	283,500	283,500	0
経理区分間繰入金支出	880,000	880,000	0
合 計	158,711,370	158,409,520	△ 301,850

子ども家庭支援センター

希 望 館

子ども家庭

支援センターの現状

センター開設後七年が経過しました。

当初から「子どもの虐待防止ネットワーク鳥取」の事務局と現在は「鳥取県児童福祉入所施設協議会との連携」となった「子育てSOS支援ネットワーク」のキー

ステーションとしての機能を合わせもっているため、全県的な情報が入りやすくなり、広域からの相談も入りやすい状況であったため、「支援センター」としての宣伝が効果的となったのでしょうか。

現在では、十八年度の実績として相談案件数四四七件、延件数一、一一八件の相談を受理しました。ここ数年間の傾向は変わっていません。また昨年からは一時保護、シヨートステイ、トワイライトステイという保護機能とも連携して、仕事を進めていますので、県東部地区の市町との連携活動も積極的にすすめていくことが必要となってきました。

相談内容については、不登校、障害、性格、虐待等への継続的な支援（カウンセリング・心理療法）も増加し、六ヶ月

一年といった長期的な見通しをもった対応が必要となってきました。

これからも、本体の情緒障害児短期治療施設鳥取子ども学園「希望館」との連携を強め、地域社会に開かれた相談機関としてより充実した機能を発揮していきたいよう、努力していきたいと考えております。なお、電話対応は二十四時間受け付けており、緊急事例への早期の対応も可能になるようにしております。

◆来所相談 平日 九時～十八時

◆電話相談 二十四時間 三六五日

TEL (〇八五七)二七〇四一五三

*引越しました

子ども家庭支援センター「希望館」は五月に移転しました。建物は同じですが、一階面接室だった場所が事務所になり、面接室は二階に移りました。



正面玄関

子ども家庭支援センター「希望館」施設会計決算書

収 入

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
補助金収入	9,423,000	9,423,000	0
繰入金収入	1,885,000	1,838,055	Δ 46,945
合 計	11,308,000	11,261,055	Δ 46,945

支 出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	10,101,000	10,039,590	Δ 61,410
事務費支出	1,207,000	1,221,465	14,465
合 計	11,308,000	11,261,055	Δ 46,945

収入支出差引残金 ￥0

23日	18日	8日	2月16日	1月21日	24日	9日	12月11日	28日	13日	3日	10月1日	27日	21日	8月14日	31日	7月25日	6月27日	5月1日	4月23日
高校生会・卒業生を送る会	高校生会・スキー合宿	希望館通所部門・卒業生を送る会	希望館通所部門・スキー遠足	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会	希望館通所部門・スキー大会

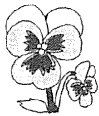
鳥取子ども学園行事

自立援助ホーム 鳥取フレンド

自立援助ホーム鳥取フレンドは、鳥取県でも学園の敷地に移って九年、そして現在の西町に移って三年目を迎えることができています。全国的にみても、年々自立援助ホームの数は増えていて、現在は四十一ホームになっています。それだけ自立援助ホームの必要性が大きくなっていることであり、社会的にも認められてきているという事だと感じています。

さて、現在鳥取フレンドには、男女七名が生活をしています。ホームでの生活をしている間に、できるだけ信頼関係を築きたいと思っていますし、一人暮らしを想定した、それに近い生活をそれぞれが自覚して生活してほしいとも思っています。実際のところは、日々仕事に行き、月に一度もらう給料の範囲で生活し貯蓄をする。その継続なのですが、それが難しい。時折連絡をしてくるOBの一人は、ホームを出て、一年にもならないが、すでに三回転職をしており、貯金もなくなり、時々夕食を食べに来たり、風邪をひいて弱気になった時に連絡をしてくれます。また、一人は、失恋したことで心の拠り所を失い、話し相手を求め電話をしてき

ました。おまけに仕事にも就かず彼女に食生活も頼っていたようで、振り出しの状態、電話代すらなく、たばこ屋さんに電話を借りて連絡してきました。また一人は、ホームを出て八年程経つのですが、最近になって仕事を切られ、アパートの家賃、車のローン、サラ金への返済が滞り、知人に借金をし、本当に借金で首が回らない状態で連絡してきました。別件で電話してきたのですが、ふたを開けるとそのような事で、「悪い事をして警察に捕まった方が、食べていける。もう私の人生終わったわ。どうでもいい。」と言います。こちらに対しても、気がねがあり、心配かけまいと、普段連絡してこなかった子です。一時的にお金を用立てることで、しのぐことはできるけれど、一人で生活していくことが、彼らにとってかなりギリギリで、厳しいことを改めて実感します。自分でなんとかしていくしかないという覚悟が必要なのです。ホームで生活している間に、私たちができる事を改めて考えさせられる近頃です。



自立援助ホーム「鳥取フレンド」施設会計決算書

収 入 (単位: 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
補助金収入	9,457,000	9,157,000	Δ 300,000
寄付金収入	10,000	10,000	0
利用料収入	1,525,000	1,682,200	157,200
雑 収 入	923,000	867,374	Δ 55,626
受取利息収入	2,000	2,164	164
繰入金収入	1,570,000	1,570,000	0
引当金戻入	600,000	800,000	200,000
合 計	14,087,000	14,088,738	1,738

支 出 (単位: 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
人件費支出	9,749,000	9,727,216	Δ 21,784
事務費支出	1,374,000	1,372,948	Δ 1,052
事業費支出	2,760,000	2,785,391	25,391
固定資産取得費	163,000	163,000	0
合 計	14,046,000	14,048,555	2,555

収入支出差引残金の ￥40,183 - は次年度繰越

自立援助ホーム 倉吉スマイル

倉吉スマイルは今年の四月で三年目を迎えました。現在、六人の十六歳から二十代の男子が、それぞれのペースで自立を目指して生活しています。そんな中で、そろそろアパート自立をしようと考えている子がいます。スマイルに入寮して約二年間、いろいろありましたが、なんとかここまでやってきたという感じです。彼は今度、大好きなミュージシャンのコンサートを観に県外へ出かけます。とても楽しみにしています。自分で、チケットを取って、会場の場所を調べて、バスや鉄道の時間を調べたりして、準備万端です。なんとも頼もしい限りです。

ただアパート自立をするために仕事をを見つけ、働き、お金を貯めるのではなく、自分が何かやりたい！したい！という気持ち、自立へと向かっていく原動力なのだとつくづく感じました。スマイルでは子どもたちがそう思えるよう、子どもたちとの生活を送っていけるよう心がけていきたいと思っています。

彼が、スマイルを巣立つときに自分が見つけた最高の「褒美」。一生忘れない、いい思い出にしてくれたいと思います。

夕食後の風景



旬も過ぎ、ここでの生活にもようやく慣れてきました。子どもたちとも少しずつ関係が築けてきています。まだまだ難しいことありますが、子どもたちの兄貴分として接していけるようがんばっていきたいと思います。



この四月から倉吉スマイルで、子どもたちと一緒に生活している、西村義裕です。五月中

新職員紹介

自立援助ホーム「倉吉スマイル」施設会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	1,497,000	1,496,550	△ 450
補助金収入	8,986,000	8,986,000	0
寄付金収入	2,000,000	2,000,000	0
利用料収入	765,000	750,000	△ 15,000
雑 収 入	132,000	132,000	0
受取利息収入	2,000	1,778	△ 222
繰入金収入	1,000,000	1,000,000	0
合 計	14,382,000	14,366,328	△ 15,672

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	7,634,000	7,631,161	△ 2,839
事務費支出	3,609,000	3,616,184	7,184
事業費支出	2,593,000	2,589,436	△ 3,564
積立預金積支立	0	529,547	529,547
合 計	13,836,000	14,366,328	530,328

収入支出差引残金 ￥ 0

平成18年度 鳥取こども学園後援会収支決算書

自 平成18年4月1日
至 平成19年3月31日

(収 入)

科 目	当 年 度	前 年 度	比較増減(Δ)額	摘 要
後 援 会 費	7,897,476	1,928,615	5,968,861	1,146件 (※) 前年度は276件
雑 収 入	2,153	29	2,124	預金利息
前 期 繰 越 金	1,832,873	1,052,569	780,304	17年度より
合 計	9,732,502	2,981,213	6,751,289	

(支 出)

科 目	当 年 度	前 年 度	比較増減(Δ)額	摘 要
本部会計へ寄付	6,000,000	1,000,000	5,000,000	
手 数 料	62,120	17,540	44,580	郵便局振込手数料
部 活 支 援	99,000	130,800	△ 31,800	遠征旅費
雑 費	15,972	0	15,972	研修室寝具購入
合 計	6,177,092	1,148,340	5,028,752	

収入支出差引残金 ￥3,555,410 - は次年度へ繰越

※うち創立百周年記念募金 1,045件 7,187,699円

当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

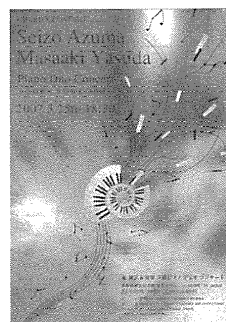
前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は
下記のとおりです。

心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (2006. 11～)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
(社福) あけの星会	大 平 千 恵 子	(株) プラスサービス	柴 田 尚 美
3 H の 会	大村保育園職員一同	(株) 森 田 印 房	柴 田 正 顕
愛 真 幼 稚 園	岡 垣 七 宝 研 究 所	(株) ヤ マ ネ 機 材	澁 谷 正 広
青 木 茂	岡 垣 美 奈 子	神 門 純 一	清 水 須 美 子
赤 堀 智 子	岡 垣 裕 二	上 場 重 俊	清 水 雅 彦
朝 倉 通 憲	尾 形 正 子	亀 山 誠	生涯教育総合センター
浅 田 え つ 子	岡 村 衣 織	川 口 佐 七	城北小学校 P T A
安 住 正 治	岡 村 醇 子	河 田 瑛 子	白 井 道 子
雨 河 一 就	岡 村 俊 作	河 原 正 彦	杉 村 英 子
荒 金 義 秋	岡 本 麻 美	川 本 久 代	すくすく保育園職員一同
安 西 義 忠	岡 本 崇	河 本 充 弘	鈴 木 智 恵 子
石 田 耕 太 郎	奥 田 親 義	菊 池 ト シ	関 敏 之
石 田 稔	奥 山 博 幸	岸 恵 理	千 石 真 知 子
石 原 シ ス テ ム (株)	小 椋 英 勇	岸 田 賢 伸	第一生命保険相互会社鳥取支店
泉 谷 英 明	小 倉 充	岸 本 正 枝	大 同 端 子 製 造 (株)
いずみ保育園職員一同	尾 崎 修 武	岸 律 子	高 須 宣 行
市 川 元 子	海 藤 ひ ろ み	北 室 育 子	高 橋 伊 三 夫
因幡組仏教婦人会	賀露保育園職員一同	清 本 清 美	瀧 山 親 則
井 上 裕 子	加 藤 和 徳	近畿大学弘徳学園	竹 下 努
井 上 芳 博	加 藤 金 属 興 業 (株)	國 本 幸 男	竹 田 義 男
岩 下 香 代 子	叶 原 土 筆	久 野 芳 治	竹 中 工 務 店 (株)
岩 田 弘 美	(株) H . R . D	熊 埜 御 堂 晋	竹 本 薫 子
岩 淵 明 美	(株) ア サ ヒ メ ッ キ	黒 川 和 子	田 尻 定
植 田 漁 貝 (株)	(株) エ ヌ シ ー ピ ー	国際ソロプチミスト鳥取	田 中 佳 代 子
上 田 照 彦	(株) 三 栄	こじか保育園職員一同	田 中 儀 衛
宇 都 宮 靖	(株) 三 立	小 島 と し 江	田 中 謙
梅 澤 潤 一	(株) 三 立 社 員 一 同	小 島 美 奈 代	田 中 耕 自
エキスパートアライアンス(株)	(株) 千代エンジニアリング	小 畑 良 和 ・ 修 子	田 中 政 仁
奥 羽 徳 行	(株) ソリッドデザイン	小 林 裕 幸	田 中 照 幸
大 河 弘 明	(株) 谷 尾 樹 楽 園	斉 藤 香	谷 口 昭 男
大 北 美 津 子	(株) タ ブ チ	歳末チャリティ餅つき大会	谷 口 尚 子
大 坂 啓 子	(株) テ ク ノ 工 業	坂 出 徹	谷 口 眞 澄
大 坂 正 浩	(株) 鳥取メカシステム	坂 口 茂 子	谷 口 義 明
太 田 明 美	(株) 鳥 取 読 売	茶道裏千家淡交会	谷 口 万 寿 子
太 田 正 志	(株) 中 井 脩	澤 田 隆	谷 本 電 機
大 塚 巖	(株) 日 照 プ レ ス	山 陰 冷 暖 設 備 (株)	谷 本 正 道
大 野 原 良 昌	(株) 林 兼 太 郎 商 店	下 司 佳 代 子	

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
玉 木 敏 久	東中国障害を共に担い共に学び会	みやこ保育園職員一同	吉 村 雄 二
田 村 明 子	ひかり保育園職員一同	無5周年チャリティパーティー	四 ッ 葉 会
田 山 喜 久 雄	日立金属労働組合鳥取支部	無 名 氏	龍 馬 の 会
束 原 克 美	日立金属(株)鳥取工場	村 田 志 津 子	渡 辺 晃 代
土 江 浜 代	ビューティーグループタナカ(株)	村 中 英 夫	渡 辺 賀 津 子
寺 坂 光 博 ・ 孝 子	平 野 辰 郎 ・ 和 江	明治安田生命保険相互会社因幡営業所	渡 辺 隆 夫
鳥 取 教 会	平 野 正 子	用瀬保育園職員一同	茗 川 大 介
鳥取教会シオン会	ヒ ラ ノ 薬 店	百 村 佐 智	秋 田 忠
鳥取県保健事業団	浩 の 会	盛 田 和 子	穴 井 薫 子
鳥取県労働者福祉協議会東部支部	福 田 喜 美 恵	盛 本 裕 子	いしど歯科クリニック
鳥 取 新 生 教 会	福 田 聡	社地区青少年育成協議会	井 上 康 夫
鳥取中央ライオンズ	福 田 早 苗	社 保 育 園 職 員 一 同	岡 垣 幸 得
鳥 取 友 の 会	福 田 眞	安 田 義 孝	尾 崎
鳥取日産自動車販売(株)	藤 野 興 一	安 本 雅 一	川 口 孝 一
鳥取ひまわり法律事務所	藤 野 電 機 商 会	矢 野 信 也	岸 本 純 子
鳥 取 み ど り 園	ふたば保育園職員一同	山 口 登 貴 子	故 塩 見 一 夫
鳥取ライオンズクラブ	古 田 操 子	山 下 学	(株)日本児童福祉協会
鳥取ワシントンホテルプラザ	古 寺 永 以 子	山 白 史 子	山 陰 教 区 因 幡 組
戸 村 誠	本 部 友 子	山 田 太 郎	柴 田 直 樹
泥 方 養 枝	前 嶋 成 樹	山 根 あ かり	砂 川 晋 治 ・ 真 理
中 井 酒 造 (株)	前 田 悦 子	山 根 純 子	曾 我 修 道
長 井 大	前 田 建 子	山 本 孝 夫 事 務 所	ダイヤモンド電機(株)
中 尾 文 裕	巻 田 豊	山 本 正 子	鳥取県教職員組合東部支部
中 川 正 道	正 岡 康 弘	山 本 美 智 子	中 井 俊 郎
中 嶋 哲 一	正 林 督 明	(有) 麻 野 鉄 工 所	乳児院支援バザー川口映子
中 西 徹	松 岡 京 子	(有) ウ ィ ル	福 永 裕 子 ・ と み 子
永 美 一 雄	松 長 敦 子	(有) エフ・エム・エルサービス	松 本 剛 典 ・ 信 之
中 村 世 津 子	松 永 商 事 (有)	(有) 開 拓 ノ ム ラ 看 板 工 房	無 名 氏
中 村 忠 文	松 原 菜 津 子	(有) カ ゲ イ 鉄 工	森 規 子
中 村 敏 江	松保保育園職員一同	(有) 仕 出 し 料 理 や ま も と	山 田 智 恵 子
中 村 富 久 美	松 村 文 雄	(有) 招 福 製 作 所	山 根 教 生
中 村 美 智 子	松 本 勲	(有) 田 中 鉄 工 所	
中 本 久 美 子	丸 山 順 子	(有) 錦 運 送	
七 里 誠 人	三 浦 繁	(有) 浜 崎 建 築 事 務 所	
西 田 幸 司	三 木 康 二	(有) 原 田 精 工	
日本ランドメタル(株)	三 木 祥 司	(有) プ ラ ネ ッ ト	
法 橋 誠	三 木 統 夫	(有) フ ロ ム 梨 香	
橋 口 秀 幸	三 島 幸 子	(有) 松 村 精 機	
橋 本 恵 美	水 本 ク リ ニ ッ ク	(有) 八 木 製 作 所	
橋 本 綏 子	光 田 澄 子	湯 村 正 仁	
浜 本 正 輝	光 浪 千 晃	横 浜 雄 介	
林 敬 二 郎	みどりの会高野晃一	吉 川 修 生	
林 義 雄	美保保育園職員一同	吉 田 恵 子	
パ ル ス 電 工 (有)	宮 内 武 幸	吉 谷 八 重	



東誠三&安田正昭ピアノデュオコンサートの収益金124万円をいただきました。井上恭子様をはじめ関係いただいた皆様チケットを購入された皆様に感謝申し上げます。

物 品 寄 付 者 (2006. 11～)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
J A 女 性 会 江 府 支 部	資 生 堂 社 会 福 祉 事 業 財 団	な が た 茶 店	山 根 一 昭
アイエヌジー生命保険(株)	修 立 小 学 校	中 山 政 一	山 根 憲 恵
秋 崎 る り 子	修立地区老人クラブ連合会	日 本 海 テ レ ビ 放 送	山 本 正 明
浅 井 慶 紀	全国シャンメリー協同組合	日 本 鏡 餅 組 合	山 本 市 吉
池 田 博 子	大 樹 寺	日 本 缶 詰 協 会	(有) 香 風 堂
出 谷 久 徳	竹 中 成 代	野 倉 恵	(有) 福 生
井 上 俊 俊	ちいさき花園幼稚園	ば に 一 に	(株)竹中工務店鳥取営業所
岩 淵 明 美	千 葉 厚 彦	平 山 眞	江崎グリコ(株)冷菓事業部
上 田 包 装 企 業 (株)	東 宝 (株)	福 田 和 子	梶 川 幸 恵
海 陽 亭	鳥 取 銀 行	前 田 順 子	河 口 さ な え
大 岡	鳥取敬愛高等学校家庭科クラブ	丸 山 順 子	竹 本 み ず ほ
キリンビバレッジ(株)	鳥取県教職員組合東部支部	美保南民生児童委員協議会	中 川 彰 子
黒 川 和 子	鳥取県福祉保健部子ども家庭課	無 名 氏	中 川 盛 雄
光 琳 グ ル ー プ	鳥取更正保護女性会	森 田 こうたろう	松 本 育 世
酒 巻 佐 代 子	中 井	森 脇 み つ え	明 徳 地 区 民 児 協
澤 田 辰 子	中 川 み か	安 田 園 子	山 崎



私たち鳥取学生赤十字奉仕団は、毎週火曜日に鳥取こども学園、土曜日に介護老人保健施設やすらぎを訪問させていただいています。また、本団は、夏にはキャンプ、秋にはアスレチックを主催しており、その他にも、日本赤十字社の支援を受けさまざまなボランティア活動を行っています。学園での活動では、団員一人一人が特定のホームにお世話になり、決まったこどもの担当という形で、継続的にコミュニケーションをとる機会をいただいています。こどもとのふれあいの中で、団員それぞれに感じることも大きくなり、自らの至らなさを痛感することもままあります。しかし、私たちの訪問を楽しみにしてくれているこどもたちがいる、ということが私たちの喜びであり、誇りです。週に一度、一時間という短い時間ではありますが、それを積み重ねていくうち、こどもの成長を実感でき、また、自分自身の成長をも実感できる瞬間があります。そうしたときには、人との出会いや人とのつながりのありがたさをただただ噛み締めるばかりです。

ボランティアさんありがとう！

鳥取学生赤十字奉仕団
副委員長 千 藤 量

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町 5-417 鳥取こども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎淑子

振 込 口 座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812
鳥取銀行本店 普通 7645611

お 願 い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設の様子やご寄付等を報告する意味で発刊し、お送りしています。

同封しています寄付金・会費・創立100周年記念募金の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考えてのことです。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。